

高知県商工団体連合会 NO.888(51-29)
〒780-8035 高知市河ノ瀬町33
TEL088-832-4838 FAX088-832-3126
Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp
ホームページ http://kosityoren.web.fc2.com/
このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連ニュース

立憲・平和県民連合／松本事務所(事務局)が声明を発表

立憲・平和県民連合の関係者のみなさんへ

次のたたかいでの勝利めざし、知事選のたたかいを総括し、スタートをきろう！

2019年11月26日 立憲・平和県民連合
松本けんじ事務所事務局

24日投開票の高知県知事選挙で、松本けんじさんは11万1397票(得票率39.07%)を獲得し、当選には至りませんでした。大健闘しました。立候補表明からわずか一カ月あまり、超短期決戦のなかで大激戦に持ち込むことができたのは、県内野党、市民のみなさんの昼夜をわかつたぬ奮闘があったからです。本当にありがとうございました。

この知事選挙は、日本の政治の変革にとっても、野党共闘の未来にとっても、大きな希望を広げる歴史的なたたかいとなりました。

大激戦に持ち込んだ力は何か？

大激戦に持ち込むことができた力は、なによりも松本候補の「ここでいっしょに生きよう だれ一人取り残さない県政へ」、「国のいいなりではなく、高知からモノ申す県政を」、「高知のことは高知で決める」との訴えが、幅広い県民のみなさんの思いと共鳴し、支持を広げる力となったことです。

第二に、市民と野党、保守のみなさんとの共同が画期的に広がったことです。広田一衆院議員の選対本部長への就任は、野党共闘の本気度を県民に示す大きなインパクトを与えました。県内5野党代表が副本部長に座り、各地で野党共闘の体制がつけられました。くわえて前総理、副総理経験者をはじめ、全国から55人もの国会議員(元職含む)が松本候補の応援に駆けつけてくれました。これらは、これからの野党共闘の発展にとって大きな財産となりました。



第三に、この選挙の歴史的意義を実感した県内、そして全国からの物心両面での熱い支援の力です。25府県の県外の野党関係者がテレデータ8万本に電話をかけてくれました。多額の募金も寄せられました。四国3県からは、県内野党の力のない地域や山間地のビラ配布への協力を受けました。私たちに励まし、松本押し上げの大きな力になりました。

「思ったより差が開いた」との意見について

同時に、「思ったより票差が開いた」「勝てると思っていたのにショックだ」との声も寄せられています。勝利できなかったことへの反省はしっかりおこなわねばなりません。その理由も前向きにリアルにとらえることが重要です。

第一は、超短期決戦だったことです。松本さんの演説、論戦は人々の心に届き、大きな変化を起こしました。候補者の演説

や政見放送などを見て聞いた方がファンになり、担い手にどんどんなっていました。それだけに立候補表明からわずか38日間しかなかったことが悔やまれます。松本さんの訴えを全県民にゆきわたらせるためには時間が足りませんでした。

二つは、「尾崎県政の継承」という土俵の上でのたたかいにならざるを得なかったことです。県民の9割近くが現県政に一定の評価を与えていました。その条件の中でどれだけ押し返すかというたたかいでした。この間の県知事選挙で野党候補が勝利した経験を見てみると、埼玉は現職知事とその後継が野党統一候補、岩手は野党統一候補そのものが現職知事でした。高知は若手の新人候補で、相手は現職知事とその後継であり、この違いは大きいものでありました。

三つは、国政選挙と知事選挙という性格の違いがあります。県知事選は県のトップを決める選挙であり、安定性や行政経験など、議員選挙とは異なる基準で選択する有権者が多かったことも事実です。相手が「若すぎる、行政経験がない」と攻撃してきたのもそういう理由からでした。沖縄では、参院選で圧倒的な支持を得ていた糸数けい子氏が県知事選に出たら敗北、しかし参院選に出ると圧勝しました。知事と国政では有権者が候補者を選ぶものさしが違うことのあらわれです。

高知の野党共闘のとりくみは、全国の先進

「共産党だからダメ」の攻撃をのりこえ

2016年参院選以来の3回の国政選挙、そしてこの知事選挙を通じて、高知県の野党共闘は団結を強めてきました。この度の知事選の候補者決定に際しても、短時間ではありましたが野党間で突っ込んだ協議をおこない、共産党籍のある松本さんの擁立を決定しました。そして、野党各党の県連組織が推薦し、本部も推薦と同レベルのとりくみをおこなったことは、野党共闘の深化をはっきり示すものです。

相手陣営は内部を引き締めるために、「共産党員知事が誕生すると大混乱する」(尾崎知事)など、攻撃してきました。これに対して、「松本さんは私たちがお願いした。みんなで押しななにが悪い」と野党各党と幅広い県民のみなさんが反撃し、その攻撃を打ち返しました。そのうえで、11万人の県民の支持を得たことは、高知県民の良識の表れでもあります。

次の総選挙、参院選挙では必ず勝利しようではありませんか。そのために、この度の知事選挙のたたかいを総括し、次のたたかいへとスタートをきりましょう。

※立憲・平和県民連合の正式名称は、「立憲主義をとりもどし、平和と希望ある共生社会をめざす県民連合高知」です。

年末増勢に向けて拡大運動は続きます

読者、会員とも奮闘いかんでは年末(12月末)増勢が可能です。最後まで追求します。みなさんのご協力よろしくお願ひします。

■秋の運動／拡大状況(12/1現在) ■1月1日比増減

	拡 大				成果 会員	1月1日比増減				
	読者	会員	共済	婦人		読者	会員	共済	婦人	青年
安芸	0	0	0	0	0	2	4	2	0	0
香美郡	5	3	4	1	4	-9	-10	-26	-11	-1
南国	5	0	3	1	0	2	6	4	1	-3
高知	14	8	7	3	0	7	-15	-1	-10	0
仁淀川	0	0	1	0	0	0	-5	-1	0	1
須崎	2	0	0	0	0	1	-8	-3	-7	-1
中村	4	2	0	0	0	6	4	-2	-8	2
計	30	13	15	5	0	20	-25	-9	-48	-12

成果会員:読者か会員を拡大した会員(紹介含む)